

「サイクリング王国わかやま」

和歌山県 県土整備部 道路局 道路政策課

1. はじめに

紀伊半島の南西部に位置する和歌山県。面積の8割以上を占める山地は、年間を通じて温暖で雨が多く広大な森林に覆われています。

昔の国名である「紀の国」は、「木の国」に由来すると言われるほど雄大な自然に囲まれており、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の高野山・熊野、美しい海岸線や緑豊かな山々、澄み切った清流、奇岩・巨石の景勝地、温泉やグルメなど、大自然の賜物である観光資源に溢れています。

このような豊富な観光資源を活かした取り組みとして、本県では、県内の約800kmに及ぶサイクリングロードを「WAKAYAMA800（図-1）」と銘打って、観光資源をサイクリングで楽しみながら周遊できるルートを提案するとともに、安全で快適に走行できる環境整備も進めています。そして、本県のサイクリングロードが持つ魅力や、充実した受入環境、様々な周遊企画などが評価され、「サイクリング王国わかやま」として、多くのサイクリストを魅了しています。

また、千葉県銚子市から和歌山県和歌山市に至るルートの内、本県内はWAKAYAMA800の海のルートで主に構成される太平洋岸自転車道^{※1}（図-2）の整備にも取り組んでおり、令和3年5月にナショナルサイクルルート^{※2}（図-3）に指定されました。

なお、サイクリング王国わかやまの愛称であるWAKAYAMA800は、距離・時間・レベル・季節など好みに合わせて多彩なコース設定が可能なルートと景勝地や温泉、食などを組み合わせることで、あらゆるサイクリストに“無限大（∞）”のサイクリング旅の楽しみ方があることを表現しています。



図-1 ログマーク (WAKAYAMA800)



図-2 ログマーク (太平洋岸自転車道)



図-3 ログマーク (ナショナルサイクルルート)

※1 千葉県銚子市から和歌山県和歌山市に至る延長1,487kmの広域的なサイクリングロード

※2 「日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルート」を国が指定

2. サイクリングロードの整備

本県では、平成26年度より、県内全域の総延長約800kmにわたる川・山・海をつなぐサイクリングロード(WAKAYAMA800)（図-4）の整備を進めてきました。

まずは、サイクリストへの案内や誘導、自動車ドライバーへの注意喚起を目的にブルーラインなどの路面表示をルート上に設置し



図-4 ルート図 (WAKAYAMA800)

ました。さらに、河川敷を利用したサイクリングロードの専用道路化や、サイクリングロード全体や周辺の主要な観光地等をサイクリストが把握できる総合案内看板等の設置により、地域に不慣れなサイクリストでも、より安全にサイクリングを楽しめるように、環境整備に取り組んでいます。

○走行環境の整備 (WAKAYAMA800)

- ・サイクリストへの案内や誘導、自動車ドライバーへの注意喚起を目的にブルーラインなどの路面表示を設置
- ・サイクリングロードの進行方向や周辺の拠点、専用道路の出入り口などを案内することを目的として案内看板を設置

[案内誘導板]

ルートの進行方向や周辺の拠点などを案内することを目的として、サイクリングロードの起終点や分岐点、中間点などに設置

[総合案内板]

サイクリングロード全体や周辺の主要な観光地、周辺拠点等に関する情報をサイクリストが把握できるよう、サイクリングロード周辺の「道の駅」等の拠点となる箇所に配置

- ・河川敷を利用したサイクリングロードの専用道路化

<路面表示>

○自転車歩行者専用道路



道路の両端にブルーライン(実線)を設置

○一般道路



100m 毎に5mのブルーライン(破線)を設置

○分岐部



交差点直前に、進行方向等を示す路面表示(方向表示)を設置

<案内看板>

○案内誘導板



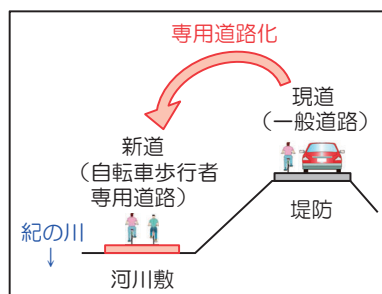
○総合案内看板



<専用道路化>



川のサイクリングロード



専用道路化(イメージ図)

また、太平洋岸自転車道（図-5）について、統一した案内看板や矢羽根型路面表示等の走行環境の整備、後述するサイクルステーション等の太平洋岸自転車道の施設としての位置付け等を行い、その結果、令和3年5月31日にナショナルサイクルルートに指定されました。今回の指定により、国内外に広く情報発信することで、誘客増など今後の地域の活性化につながるものと考えています。なお、終点となる和歌山市加太の淡島神社前に設置された記念モニュメント（写真-3）は、人気の撮影スポットにもなっています。

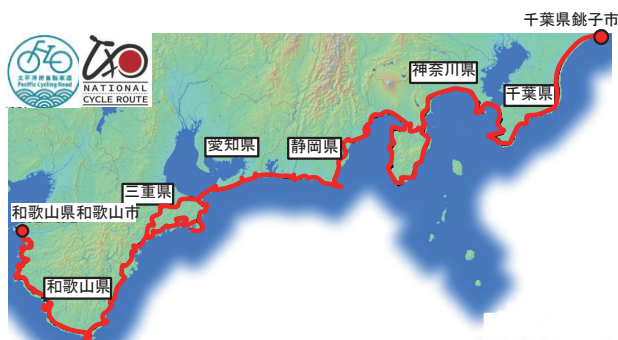


図-5 ルート図（太平洋岸自転車道）



写真-3 記念モニュメント

○走行環境の整備（太平洋岸自転車道）

- ・サイクリストへの案内や誘導、自動車ドライバーへの注意喚起を目的に矢羽根型路面表示などの路面表示を設置
- ・サイクリストがルート上を迷うことなく目的地まで行けるよう分岐部や単路部に案内看板を設置
- ・トンネル部におけるサイクリストの安全確保のため、自動車ドライバーに注意を促す看板を設置

<路面表示>

○矢羽根型路面表示



○ルート案内に関する路面表示



分岐部

単路部（5kmごと）

<各種看板>

○案内看板



分岐部

単路部（5kmごと）

○注意喚起看板



注意喚起の看板（狭小トンネル）

3. サイクルツーリズムの推進

(1) 安心・安全、快適なライドをサポートする受入環境

市町村や民間企業の協力をいただきながら、サイクリストを温かくおもてなしする受入環境の整備も進めています。

その一つが、サイクリストが気軽に立ち寄り、休憩や自転車のメンテナンスを行うことができる「サイクルステーション（写真-4）」です。①休憩（駐輪）スペースの提供、②トイレの提供、③スポーツバイク対応の空気入れの貸出しを行うことを登録要件として、WAKAYAMA800のルート周辺を中心に339箇所（R5.1月末時点）設置しています。施設のジャンルは様々で、自転車店やコンビニ、カフェ、宿泊・温泉施設など多岐にわたっています。

もう一つが、サイクリストが安心・快適に滞在することができる「サイクリストに優しい宿（写真-5）」です。①自転車を組み立てたまま「客室まで持ち込める」又は「一般客の立入らない施設可能な場所での保管」、②「スポーツバイク対応の空気入れ」及び「修理工具」の貸出し、③手荷物の一時預かり、④宅配便（自転車を含む）の受取・発送サービスの提供を行うことを認定要件として、73宿泊施設（R5.1月末時点）を登録しています。



写真-4 サイクルステーション

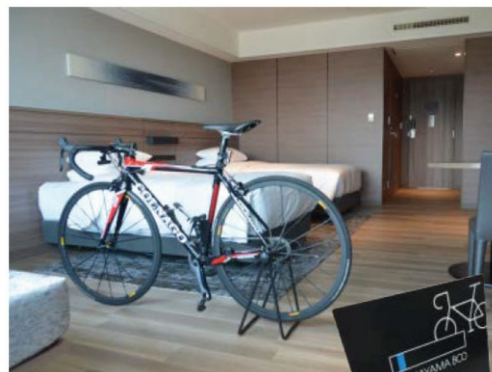


写真-5 サイクリストに優しい宿

(2) ライト層からコア層まで楽しめる周遊企画

WAKAYAMA800のサイクリングロードを自由気まま、気分が赴くままにライドするだけでなく、ライト層からコア層まで気軽に参加できる周遊企画も用意しています。

今年度で5回目の開催を迎える「WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー（図-6）」は、県内63箇所に設定したチェックポイントを巡るスタンプラリーです。獲得したスタンプ数に応じて応募できる各賞の他、ライド中に会える絶景などを投稿するインスタ賞、クライマー（登坂を得意とするサイクリスト）のチャレンジ精神を掻き立てる山岳賞などを設定し、サイクリストの趣味・指向に応じた楽しみ方を提供しています。

また、今年度から新たな遊び方として、ランキング機能を導入しました。県内のおすすめ12コースの走破や、県内で開催されるサイクリングイベントに参加することで獲得できる「ペダル」の数を競うもので、「我こそはサイクリスト」という方に特におすすめです。

さらに、ロードレースの自転車競技を題材にした人気アニメ「弱虫ペダル」とタイアップしたモバイルスタンプラリー（図-7）も期間限定で実施し、年々、利用者及び女性や県外からの利用者の割合が増えてきています^{※3}。

※3 利用者数等の増加（H30→R3）

利用者：1,426人→5,762人【割合：（女性）16.1%→24.7%、（県外）46.1%→56.5%】



図-6 WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー



図-7 弱虫ペダルとのタイアップ

(3) サイクルトレインの運行

JR西日本では、きのくに線の御坊駅～新宮駅間（図-8）で、予約や追加料金が不要で、自転車をそのまま電車内に持ち込んで運べるサイクルトレイン（写真-6）を運行しています。運行区間は、本州最南端に位置する串本やリアス式海岸が続く熊野灘に面した路線であり、サイクルトレインを利用することで同じ道を往復することなく、海の絶景を巡る旅が楽しめます。

また、令和4年10月からは特急くろしお（白浜駅～新宮駅間）も利用可能（写真-7）となり、これまで以上に快適なサイクリングを体験できるようになりました。

なお、令和3年12月の本格サービス開始後、年間で7,500人を超える利用があり、利用者から好評を得ています。



図-8 サイクルトレイン利用可能区間（JR西日本 HP より引用）



写真-6 サイクルトレイン



専用カバー（乗車駅で貸出）
をつけて乗車



自転車を座席に立てかけてゴムで固定
（一人で横並びの4席を利用可能）

写真-7 くろしおサイクル

(4) レンタサイクル

観光案内所や民間事業者などの営業により、県内の各所にクロスバイクなどのスポーツ自転車やEバイクなどの電動式自転車をレンタルできるスポット（写真-8）があります。そのような自転車を試してみたい方や旅先で地域をじっくりと周遊したい場合などにお勧めです。また、区間は限られますが、乗り捨てサービスを実施している区間もあり、好きな場所で返却し、そのまま次の旅先に向かうことができます。



写真-8 レンタサイクル

(5) サイクリングモデルルート

県では、WAKAYAMA800を主なルートとして、初心者から上級者まで、さまざまな自然や観光スポットを満喫できる様々なモデルルートを設定しています。（図-7）

県内の観光案内所などで配布されるサイクリングマップやスマートフォンなどですべてのルートを確認できるため、自身のレベルに合わせて計画することができます。



高野山（大門）

図-7 モデルルート
（「日本一のみかんの産地からあらい島と世界遺産「高野山」をめざすルート」）

4. さいごに

近年、サイクリングは環境に優しく健康に寄与することなどから注目されていますが、そのブームは、近年のコロナ禍によるアウトドア志向の高まりを受けて、世代や性別を問わず一層広がりを見せています。

今後も、初心者から上級者まで幅広い層の方々がもっと気軽に安心して楽しめるように、サイクリング環境の整備を行い、WAKAYAMA800のさらなる認知度向上と魅力増進を図っていきます。

楽しみ方は無限大。「サイクリング王国わかやま」で心がはずむ自転車旅にでかけましょう。

和歌山県サイクリング総合サイト
<https://wakayama800.jp/>



写真-9 サイクリング王国わかやま